

## 草の根技術協力（地域活性化特別枠）事業概要

I. 事業の概要	
1. 対象国名	ザンビア共和国
2. 事業名	小規模農家における市場志向型営農普及プロジェクト-丸森町での営農事例紹介を通じて-
3. 事業の背景と必要性	<p>食料安全保障の観点からザンビア国の小規模農家における農産物はメイズ（とうもろこし）の単一栽培が中心であるが、病害虫や気候変動に伴う干ばつ、価格変動に対する脆弱性、食料自給による栄養不良といった弊害が発生している。同国政府では2030年までの持続可能な開発目標（Vision2030）ならびに持続可能な成長および飢餓と貧困の削減等を目指した第7次国家開発計画（2017-2021年）を策定し、本事業対象地であるルサカ州では「貧困を終わらせ、食料安全保障を向上させ、栄養改善と持続可能な農業を実施する」ため、多品目栽培を促進する取り組みが行われている。</p> <p>耕野振興会が実施した草の根技協「丸森町の在来技術を活用した小規模農家の食糧の安定利用強化プロジェクト」（2016-2019年）では、ザンビアの農業普及員と農家に対し丸森町の在来農業技術を移転することで多品目栽培と生活改善活動を行った。他方、貧困層に属する小規模農家の生計改善のために収入向上が求められているという新たな課題も確認され、は収入向上に繋がる現地に適した営農が必須という新たな課題も確認され、そのためには市場志向を意識したマーケットのニーズに基づく農産物の多様化による基礎的な営農の普及が必要である。本事業では、ザンビアの小規模農家の生計向上を図るため、小耕作地という類似条件を持つ丸森町農家の営農戦略ノウハウを応用・移転する。本事業は丸森町の住民が、本事業を通じて自らの技術や生活様式の価値を再発見することが期待でき、この意味で本事業は国際協力と地方創生を両立させる試みともいえる。</p>
4. プロジェクト目標	小規模農家における市場志向型営農が普及されている
5. 対象地域	ザンビア国ルサカ州チランガ郡・カフエ郡
6. 受益者層（人数規模）	<p>直接受益者：</p> <p>①対象地域のうち4ブロックにおける小規模農家約1,000人。②州および郡農業事務所職員20人</p> <p>間接受益者：直接受益者の家族や近隣農家約8,000人</p>
7. 活動及び期待されるアウトプット	<p><b>アウトプット</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 農家が周囲のニーズを把握できるようになっている</li> <li>2. 農家が周囲のニーズに応えられる農産物生産関連技術を身に付けている</li> <li>3. 農家が営農に関する情報を記録し、活用している</li> <li>4. 普及員の農業普及サービス能力が改善している</li> <li>5. 農家が感染症拡大予防策について知識を得て実践している</li> <li>6. プロジェクトの活動を通じて、持続可能な地球社会づくりについて学んでいる</li> </ol> <p><b>活動</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1-1. 農家がグループディスカッションを行い、農産物生産における課題やニーズを出し合う</li> <li>1-2. 農家が市場関係者とのミーティングを行い、需要のある農産物を把握する</li> <li>1-3. プロジェクトと普及員が農産物の生産と市場に関する情報をまとめる</li> <li>2-1. 技術普及用の資料（マニュアルなど）を作成する</li> <li>2-2. 農家に対してプロジェクトが農産物生産に関する技術普及活動を実施する（e.g. 穀類栽培/野菜栽培/養蜂/加工・保存/種子の自家採取/改良型竈）</li> <li>2-3. 農家が学んだ技術を実践できる機会を提供する</li> <li>2-4. 農家が実践した活動を総括してグループで共有する</li> <li>3-1. プロジェクトが農家が使う事が出来る農産物生産・販売に関する記録用紙を作成する</li> <li>3-2. 農家が営農活動を記録する</li> <li>3-3. プロジェクトが農業事務所と共に記録を分析して農家と共有する</li> <li>4-1. 普及員が担当エリアに展示圃場を作り、フィールドデイを主催する</li> <li>4-2. 普及員が農産物生産の管理技術に関する技術指導（プラントクリニックなど）を農家へ行う</li> <li>4-3. 普及員による農家のモニタリング方法の改善活動を行う</li> <li>4-4. 普及員が丸森町で市場志向型営農に関する研修（通称：丸森研修）を受け、帰国後は農家に還元する</li> <li>5-1. 感染症対策活動で配布する資料を作成する</li> <li>5-2. 感染症対策に関するワークショップ形式の技術普及活動（手洗い励行、水の衛生環境の改善活動、手作りマスク活動など）を行う</li> <li>5-3. 感染症対策に関する啓蒙・啓発活動（3密を避ける、感染症についての情報提供など）を実施する</li> <li>6-1. 開発教育に関するセミナーを、実施団体職員が受講する</li> <li>6-2. プロジェクトに関連した開発教育用教材を作製する</li> <li>6-3. プロジェクトに関連した開発教育に関するセミナーを開催する</li> </ol>
8. 実施期間	2021年2月～2024年10月（3年10ヵ月）
9. 事業費概算額	74,532千円
10. 事実施体制	耕野振興会
12. 相手国実施機関	ザンビア国農業省ルサカ州農業事務所
II. 実施団体の概要	
1. 団体名（提案自治体名）	耕野振興会（丸森町）
2. 活動内容	耕野まちづくりセンターの指定管理、町役場の窓口業務。地域および地域活性化の行事（レクリエーション、栄養改善、地域おこし協力隊の受け入れ）の運営、国内外研修員への農業技術研修の企画運営